

平成18年1月分電力需給状況

需要の概要

平成18年1月の販売電力量は、26億3千5百万kWh時、前年比107.0%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、12月の記録的低温による暖房需要の増加などから、前年比111.9%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は堅調に推移し、前年比104.1%となった。

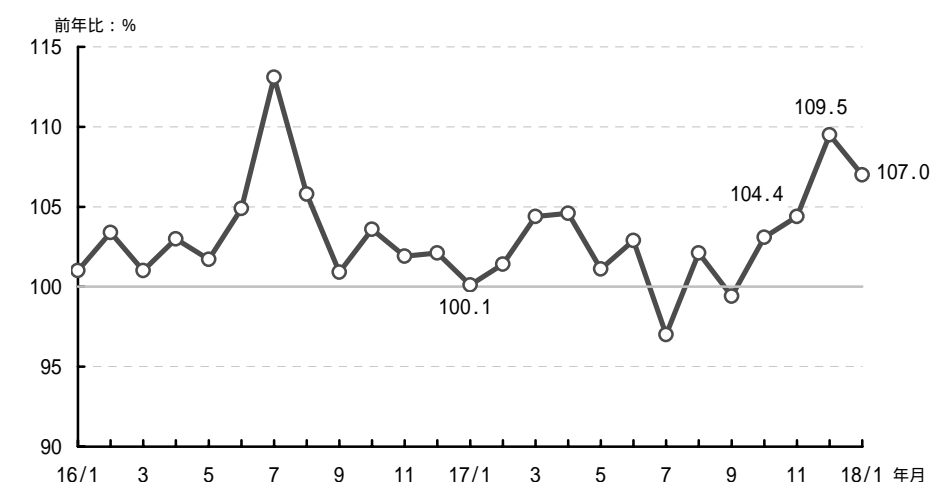
産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、化学、機械などが前年を上回ったことから、前年比103.9%となった。

需要実績

		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	1,067	111.9
	電 力	222	107.2
	計	1,289	111.0
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	515	104.1
	産業用電力	831	102.9
	うち大口電力	(639)	(103.9)
	計	1,346	103.3
販売電力量 計		2,635	107.0
融 通		715	101.1

注1. 特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。
 注2. 17年4月より自由化範囲が拡大されたことに伴い、16年度以前の需要区分と一部異なる。
 前年比は、前年同月の実績を現在の区分に合わせるにより算定した。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

	電力量	前年比		
		(百万kWh時、%)		
		18/1月	17/12月	17/11月
紙・パルプ	117	116.7	111.4	115.3
化 学	135	103.1	104.0	110.3
鉄 鋼	79	87.3	95.8	95.8
機 械	130	106.6	107.4	105.4
そ の 他	178	103.8	105.1	103.3
合 計	639	103.9	105.1	106.2

(参考2) 4県都平均気温

	()							
	17/12月				18/1月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	7.2	4.1	4.9	5.4	4.7	7.2	6.0	6.0
平年差	2.1	3.8	2.1	2.7	1.7	1.5	0.7	0.2
前年差	4.6	6.6	2.5	4.5	1.0	1.0	0.4	0.1

供給の概要

- 原子力は、前年比103.2%となった。
- 水力は、他社水力からの受電が減少したことにより前年比90.4%となった。
- 以上の結果、火力は、前年比102.6%となった。

供給実績

		(百万kWh時、%)		備 考
		電力量	前年比	
原子力	(31)	1,108	103.2	出水率 102.8% (17年1月出水率 88.4%)
水 力	(4)	120	90.4	
火 力	(65)	2,314	102.6	
発受電計	(100)	3,542	102.3	
その他		1		
供 給 計		3,543	102.3	

注.()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)						
		徳 島	高 知	愛 媛	香 川			
販売電力量計	(104.5)	596	(106.3)	444	(108.1)	916	(108.1)	679

注.()内は前年比